

学力向上推進拠点校指定事業（2年目）

学力向上推進拠点校に指定され2年目を迎えます。本年度は昨年度の課題を受け、大きく2点変更しました。

①主題及び副主題の変更

「意欲的に学び、思考、判断、表現できる生徒の育成」

～のおがた授業モデルと効果的なICT機器の活用による授業改善を通して～

②研究推進リーダー会の設置

各研究部会の横の連携を活性化させるために、各研究部会に副部長を置き、4部会計8名による研究推進リーダー会を設置した。

本年度の研究推進に向けて、4月30日（火）に市内中学校の国語科の先生方にも参加していただき授業研を行いました。5校時に中村教諭の国語科の授業を参観し、6校時に研究協議を行いました。

<5校時>

- 1 単元 「のはらうた」
- 2 主眼 詩中の言葉を手掛かりにして、詩に描かれた心情や情景を想像することができるようにする。
- 3 着眼 ①【単元や授業過程における学習意欲を喚起するための工夫】
生徒の音読する姿をタブレットで録画し、その姿が本時の学習を通してどのように変容するかを想像させることで、生徒に学習意欲をもたせる。
②【「一人学び」や「協働学び」における、自分の考えをつくり、広げたり、深めたりするためのICT機器の効果的な活用】
「協働学び」において、生徒が音読練習する様子をタブレットで録画させることで、客観的に自分たちの姿を評価し、改善することができるようにする。



タブレットで音読の様子を撮影



心情や情景を班で考え、音読の工夫について話し合い



工夫したことをもとに音読

<6校時>

参観した授業をもとに研究協議を行い、最後に福岡県教育庁北九州教育事務所の指導主事より研究の方向性について指導助言をいただきました。

